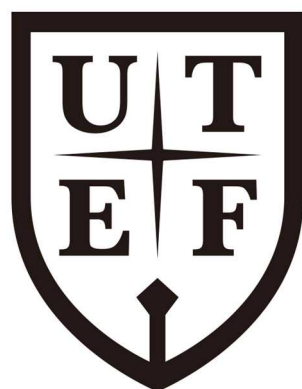


令和6年度

学生募集要項



福岡教育大学

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>

新型コロナウイルス感染症の状況等により、試験日程、試験内容等が変更になる可能性があります。変更がある場合は、本学ホームページ等でお知らせします。

出願方法について

出願方法は「インターネット出願」のみとなります。なお、インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に、次の3点の手続を必ず完了する必要があります。

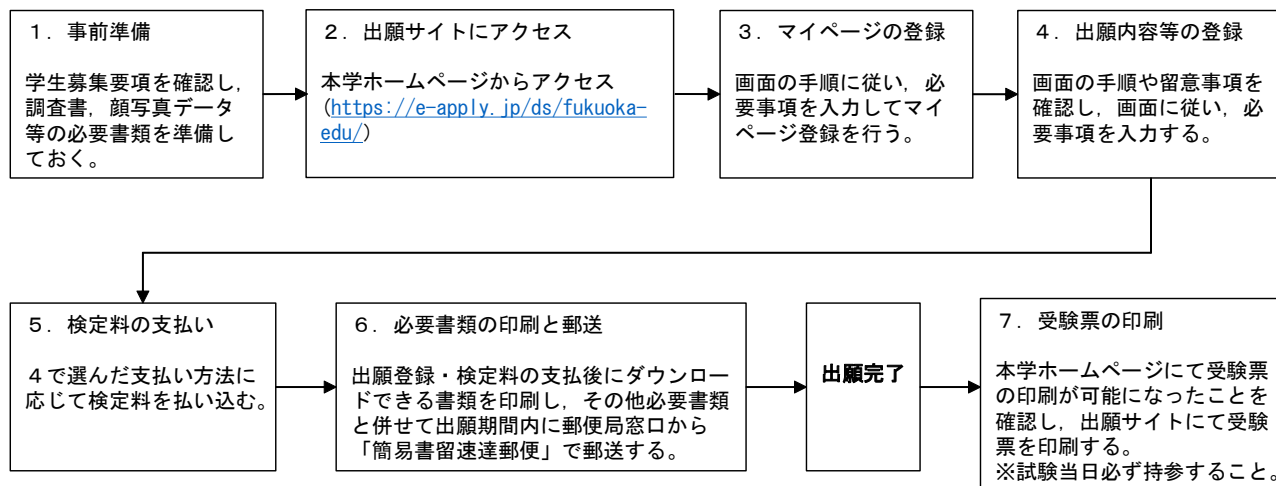
- ・インターネットを利用した出願登録
- ・検定料の支払い
- ・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合、受験できませんので十分ご注意ください。

なお、出願に必要な書類等は出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。

(2月2日(金)当日消印有効)

出願の流れは以下のとおりです。



※出願に必要な書類等について、4ページを確認してください。

※受験票は、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので、出願サイトで各自印刷のうえ、試験当日持参してください。

◎令和6年度入学者選抜試験に係る入学検定料の特別措置について

本学では、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、次のとおり入学検定料免除の特別措置を実施します。特別措置を希望される志願者（保護者等を含む）は、インターネット出願前に必ず入試課までご連絡ください。

- 1 免除の対象者
令和3年4月以降に発生した大規模災害における災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する方
(1) 志願者又は志願者の主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊若しくは流出した、又は大規模半壊、半壊若しくは床上浸水した場合
(2) 主たる学資負担者が死亡または行方不明の場合
- 2 申請の方法
市町村等が証明し発行する「罹災証明書」（写し可）等、必要な書類がございますので、申請の際には本学のホームページをご確認ください。
- 3 その他
(1) 入学金・授業料については、申請により免除又は徴収猶予されることがあります。入学手続き時に、別途申請手続きが必要となります。
(2) 調査書が得られない場合には、卒業（見込）証明書又は成績通信簿等を提出することで代えることができます。

【本学ホームページ：入学検定料の特別措置】

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/r_fee/index.html

◎連絡先 福岡教育大学入試課 TEL 0940-35-1235

福岡教育大学を受験される皆様へ

福岡教育大学の令和6年度入学者選抜は、この『学生募集要項』により実施しますのでよく読んでください。なお、不明な点があれば大学にお問い合わせください。

下記の点には特に注意してください。

- ◎ 本学はすべての課程とも分離・分割方式(前期日程及び後期日程)で試験を実施しますが、前期日程のみで実施する募集単位もありますので1ページの「1. 募集人員」を確認してください。
- ◎ 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。
従って、本学の「前期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の「後期日程」に出願することができます。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。
次のような組み合わせの出願はできませんので注意してください。
「国立前期一国立前期」、「国立前期一公立前期」
「国立後期一国立後期」、「国立後期一公立後期」
- ◎ 「前期日程」に合格し、入学手続前期締切期日〔令和6年3月15日(金)〕までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。
- ◎ 1つの国立公大学・学部に入学者選抜を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者選抜を行うことはできません。
- ◎ 国公立大学の分離・分割方式による追加合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校コード、及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- ◎ 国公立大学(本学を含む。)学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜の入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の「前期日程」及び「後期日程」を受験しても入学許可を得ることはできません。
- ◎ 国公立大学総合型選抜合格者は、当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める総合型選抜の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の「前期日程」及び「後期日程」を受験しても入学許可は得ることができません。

※ 大学入学共通テスト受験票は、前期日程当日、後期日程当日、及び入学手続の際に必要となりますので、絶対に紛失しないよう注意してください。

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、これからの学校教育において、さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員、具体的には、

- ・ 幼児・児童・生徒の発達、自律を支援できる教員
- ・ 義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に、幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ、深い学びへ導くことができる教員
- ・ 幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに、個々の子どもを客観的に理解できる教員の養成を使命としています。そのために学士課程においては、学校教育現場において求められる、1) 幅広い視野と豊かな教養、2) 高い専門性、3) 確かな実践力を培い、各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では、各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

<福岡教育大学では、次のような人の受験を期待します。>

- ◎教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの発達や学習の支援、子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり、主体的・積極的に、さらには多様な人々と協働して、教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。
- ◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに、それらを活用して、論理的に思考し、判断し、さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。
さらに、中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は、教員となって担当しようとする教科、科目に関する学力を十分に身に付けている人。
- ◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え、組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。

<福岡教育大学の入学者選抜では、次のような力を評価します。>

【初等教育教員養成課程】

◎幼児教育プログラム

- ・ 「一般選抜（前期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が学級担任制である小学校教員及び幼児教育に理解の深い教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているか否かを判断します。さらに、個別学力検査等においては、「面接」を課し、教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します。「面接」では、高等学校長からの調査書を活用する場合があります。また、高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上である場合、一定の点数を加点します。

◎小学校教育専攻プログラム

- ・「一般選抜（前期日程・後期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が学級担任制である小学校教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているかを判断します。さらに、個別学力検査等においては、「前期日程」では、「面接」を課し、教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接」では、高等学校長からの調査書を活用する場合があります。また、高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上である場合、一定の点数を加点します。「後期日程」では、「小論文」を課し、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、教職への意欲等を評価します。

◎人文・社会教育プログラム，理数教育プログラム，芸術・実技教育プログラム

- ・「一般選抜（前期日程・後期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が学級担任制である小学校教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているかを判断します。なお、これらのプログラムでは、学級担任のみならず、特定の教科または複数の教科に得意分野を持ち、小学校における特定の教科を担当するための知識、技能及び実践力を修得することを目的としていることから、「人文・社会教育プログラム」においては、大学入学共通テストの「外国語」，「国語」及び「地理歴史・公民」を，「理数教育プログラム」においては，「外国語」，「数学」及び「理科」を傾斜配点します。さらに，「前期日程」においては，すべてのプログラムにおいて，「面接」を課し，教職への意欲，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接」では，高等学校長からの調査書を活用する場合があります。「理数教育プログラム」では，「数学」または「理科」を課し，数理教育分野への適性，資質，能力等を評価します。「芸術・実技教育プログラム」においては，「実技（音楽）及び音楽理論」，「実技（美術）」，「実技（体育）」，「小論文（家庭）」または「口頭試問（技術ものづくり）」を課し（受験者は5つの中から1つを選択して受験します。），芸術・実技教育分野への適性，資質，能力等を評価します。また，高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上である場合，一定の点数を加点します。「後期日程（芸術・実技教育プログラムを除く）」では，「小論文」を課し，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，教職への意欲等を評価します。

【中等教育教員養成課程】

- ・「一般選抜（前期日程・後期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が教科担任制である中学校、高等学校の教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているかを判断します。さらに、個別学力検査等においては、本課程の全専攻に共通の「小論文」を課し、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度や教職への意欲等を評価します。また、各専攻の教科の内容に関する全般的・基礎的な学力検査（実技を含む）または小論文（中等教育プログラム社会科専攻）若しくは小論文（中等教育プログラム家庭専攻）を課し、志望する専攻への適性、資質、能力等を評価します。また、一部の専攻では、「面接」または「面接（口頭試問を含む。）」を課します。「面接」では、表現力や教職への意欲、思考力、判断力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では、当該の専攻の教科等の内容に関する高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力と同時に教職への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接」及び「面接（口頭試問を含む。）」では、高等学校長からの調査書を活用する場合があります。

【特別支援教育教員養成課程】

◎特別支援教育初等教育プログラム

- ・「一般選抜（前期日程・後期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が特別支援学校の小学部の教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているかを判断します。さらに個別学力検査等においては、「前期日程」では、「面接（口頭試問を含む。）」を課し、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力や教職への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では、高等学校長からの調査書を活用する場合があります。「後期日程」では、「小論文」を課し、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力、論理性、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、教職への意欲等を評価します。また、高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上である場合、一定の点数を加点します。

【特別支援教育教員養成課程】

◎特別支援教育中等教育プログラム

- ・「一般選抜（前期日程・後期日程）」では、大学入学共通テストを課し、受験者が特別支援学校の中学部、高等部の教員を目指した学修を本学で行う上で必要な基礎的な学力を身に付けているかを判断します。さらに個別学力検査等においては、「前期日程」では、「面接（口頭試問を含む。）」を課し、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を

基礎とした思考力・判断力・表現力や教職への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。「面接（口頭試問を含む。）」では，高等学校長からの調査書を活用する場合があります。「後期日程」では，「小論文」を課し，高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力，論理性，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度，教職への意欲等を評価します。また，高等学校での主体的・対話的で深い学びを行った結果としての調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上である場合，一定の点数を加点します。

目 次

1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. 出願期間	2
4. 出願手続	3
(1)出願に必要な書類等	4
(2)出願及び受験に際しての注意事項	5
5. 障害等のある入学志願者の事前相談について	6
6. 試験期日	7
7. 入学者選抜方法等	7
(1)入学者選抜の実施教科・科目等について	7
【別表1】大学入学共通テストの教科・科目名・配点等	8
【別表2】大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等	9
(2)実技検査を課す課程及びプログラム・専攻等の内容について	11
(3)小論文, 実技検査, 面接, 口頭試問の評価の観点	19
8. 試験時間割	22
9. 試験場	24
10. 合格者発表	24
11. 入学手続	25
12. 入学料・授業料等	25
13. 追加合格	26
14. ノートパソコンの必携 (BYOD) について	26
15. 入学者選抜試験個人成績の開示について	27
16. 競技歴調査書の「専門種目の競技歴」記入上の注意等について	28
17. 個人情報の利用について	29
18. 欠員補充第2次募集	30
19. 出願状況等の情報提供	30

◎ 大学所在地 【交通機関】 【周辺道路地図】

◎ 福岡教育大学キャンパス・マップ 福岡教育大学各種お問い合わせ先

1. 募集人員

課程・プログラム・専攻等		募 集 人 員		募集人員計
		前期日程	後期日程	
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム	12名		285名
	小学校教育専攻プログラム	46名	15名	
	人文・社会教育プログラム【注1】	60名	45名	
	理数教育プログラム【注1】	40名	10名	
	芸術・実技教育プログラム 【注1】【注2】	57名	10名程度	
(音楽系科目)	10名程度			
(美術系科目)	20名程度			
(体育系科目)	12名程度			
(家庭系科目)	5名程度			
中等教育 教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	12名	
		社会科専攻	12名	
		数学専攻	20名	8名
		理科専攻	27名	8名
		英語専攻	10名	
		音楽専攻	8名	
		美術専攻	5名	
		保健体育専攻	12名	
		家庭専攻	7名	
		技術専攻	5名	5名
		書道専攻	7名	
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	25名	10名	55名
	特別支援教育中等教育プログラム	14名	6名	
合 計		379名	107名	486名

上記募集人員には、既に募集した学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱの募集人員は含んでいません。

- 【注1】・初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラムでは、1年次から主専攻（小学校教育）について学修し、副専攻については、入学後（2年進級時）に国語領域、社会領域、英語領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。
- ・初等教育教員養成課程理数教育プログラムでは、1年次から主専攻（小学校教育）について学修し、副専攻については、入学後（2年進級時）に数学領域、理科領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。
 - ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムでは、1年次から主専攻（小学校教育）について学修し、副専攻については、入学後（2年進級時）に音楽領域、美術領域、保健体育領域、家庭領域、技術領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。

【注2】・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムでは、個別学力検査等において選択する受験科目パターンごとに募集人員の目安を示しています。なお、音楽系科目、美術系科目、体育系科目、家庭系科目、技術ものづくり系科目とは、下表に示す受験科目パターンの区分を指します。

科目パターン区分	前期日程	
音楽系科目	面接	実技検査（音楽）、音楽理論
美術系科目		実技検査（美術）
体育系科目		実技検査（体育）
家庭系科目		小論文（家庭）
技術ものづくり系科目		口頭試問（技術ものづくり）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ本学が指定した令和6年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験した者（9ページの【別表2】の「大学入学共通テスト科目パターン」欄に掲げた科目パターンごとに8ページの【別表1】を参照）

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 本学に入学を志願する者で入学資格の認定を希望する者は、本学ホームページの「入学者選抜に係る入学資格審査実施要領」に従い、手続を行ってください。

入学資格審査の対象となるのは、我が国における12年の学校教育の高等学校に対応する外国人学校の課程を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者です。ただし、これら以外の者であっても、各種の学校等における学習歴や単位取得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると認められる者については、個別の入学資格審査の対象とします。

詳細については、大学ホームページを参照ください。

【本学ホームページ：入学資格審査実施要領】

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/list_examination.html

3. 出願期間

出願に必要な書類等の提出期限

令和6年1月22日（月）から2月2日（金）まで（当日消印有効）

インターネット出願登録期間

令和6年1月15日（月）から2月2日（金）まで（最終日は17時まで）

【注意】

前期日程及び後期日程とも同一期間に出願を受け付けます。次ページの【出願手続】及び「(2)の(ア)出願について」を参照してください。

4. 出願手続

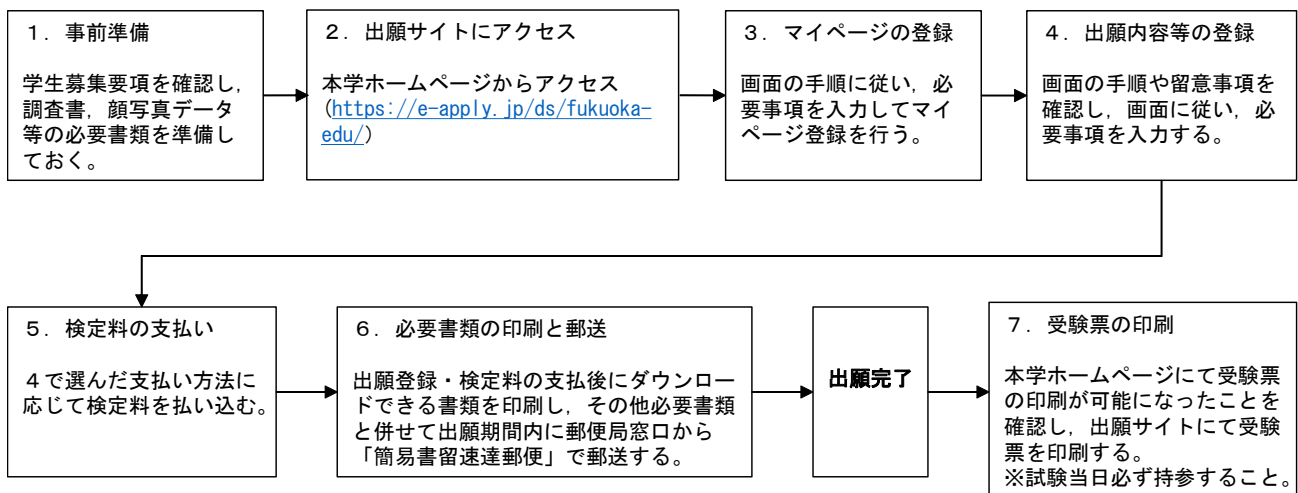
インターネットを利用した出願方法となります。インターネットを利用した出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。出願期間内に、次の3点の手続を必ず完了する必要があります。

- ・インターネットを利用した出願登録
- ・検定料の支払い
- ・出願に必要な書類等の郵送での提出

これらを完了していない場合、受験できませんので十分ご注意ください。

なお、出願に必要な書類等は出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。(2月2日(金)当日消印有効)

出願の流れは以下のとおりです。



◎ **検定料** 17,000円 (別途、払込手数料が発生します。)

【注意】 払い込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。

- (ア) 出願書類を提出しなかった場合
 - (イ) 出願書類が受理されなかった場合
 - (ウ) 出願書類が受理された後に大学入学共通テストの受験科目の不足により出願の資格がないことが判明した場合
 - (エ) 誤って二重又は過剰に納付した場合
- ・ (ア), (イ), (エ) の場合は、納付した者の申し出により、検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。
 - ・ (ウ) の場合は、13,000円より振込手数料等の実費を除く額を返還します。
 - ・ (ア) に該当する場合は、福岡教育大学入試課 (0940-35-1235) へ連絡してください。
 - ・ (イ), (ウ), (エ) に該当する場合は、大学から連絡します。

(1) 出願に必要な書類等

出願書類等は次の表のとおりです。①についてはインターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/>) からダウンロードしてください。④～⑤については本学所定の用紙を本学のホームページ (<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/general.html>) からダウンロードしてください。

出願書類等の名称	提出者	摘 要
① 志願票兼出願確認票	全 員	インターネット出願サイトを通しての出願登録・検定料の支払完了後にダウンロードし、印刷してください。
② 共通テスト成績請求票	全 員	前期日程に出願する者は大学入試センター発行の「 前 令和6共通テスト成績請求票国公立前期日程用」を、後期日程に出願する者は大学入試センター発行の「 後 令和6共通テスト成績請求票国公立後期日程用」を、志願票兼出願確認票の所定の欄に貼付してください。
③ 調 査 書	全 員	出身学校長等において作成し 厳封 したものを提出してください。 ただし、高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）は、その合格証明書や合格成績証明書、又はその資格を証明する書類を提出することで代えることができます。この場合でも、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の成績証明書を併せて提出してください。
④ 音楽実技検査票	該当者	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）、中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻を志望する者は、本学所定の用紙（※）により提出してください。
⑤ 競技歴調査書	該当者	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）、中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻を志望する者は、本学所定の用紙（※）により提出してください。（競技歴を証明する資料を含む。16～18ページ及び28ページを参照。）

※黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

※⑤はA4サイズで両面印刷してください。

【提出方法】

インターネット出願サイトで出願書類提出用宛名シートをダウンロード・印刷し、市販の角形2号封筒に貼付し、出願書類等を入れて、郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。（2月2日（金）当日消印有効）

【出願書類等の提出宛先】

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号
福岡教育大学 入試課
TEL 0940-35-1235

(2) 出願及び受験に際しての注意事項

(ア) 出願について

- ① **出願締切日〔2月2日（金）〕当日に郵送手続をする者は、必ずその旨を福岡教育大学入試課(0940-35-1235)へ17時までに連絡してください。**
- ② 出願期間前の到着又は出願期間後の消印がある書類は、受理できません。
- ③ **出願書類に不備がある場合には、受理できないことがあります。** 郵送する前に必ず記入内容を点検し、提出すべきすべての書類が整っているか確認してください。
- ④ **志願票兼出願確認票受理後は、住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更を認めません。**
- ⑤ 出願後に住所・連絡先を変更した場合は、志願者であることが確認できるもの（氏名、出願した日程、志望課程及びプログラム・専攻等及びインターネット出願時の受付番号または受験番号など）を準備し、新しい住所・連絡先を電話により入試課へ連絡してください。

(イ) 受験票について

- ① 受験票は、本学ホームページにて試験の1週間前までを目処に受験票の印刷が可能となった旨をお知らせしますので、出願サイトで各自印刷のうえ、試験当日持参してください。
- ② 受験者は、試験当日（前期日程は2月25日、26日。後期日程は3月12日、13日）に本学の受験票と併せて大学入学共通テストの受験票を必ず持参してください。
- ③ 試験当日に受験票を忘れて来た場合は、試験当日に本学が設置する試験場第1事務室にて、集合時間までに「仮受験票」の発行手続きをしてください。
- ④ 試験当日に大学入学共通テストの受験票を持参し忘れた場合は、本学の受験票を持って試験場第1事務室にて、集合時間までに所定の手続きをしてください。
- ⑤ 大学入学共通テスト受験票を紛失・汚損した場合は、直ちに「大学入学共通テスト受験案内」に基づいて再発行の申請を行ってください。なお、本学の前期日程及び後期日程の受験までに間に合わない場合でも、必ず上記のとおり大学入試センターに申請の上、試験当日に本学の受験票を持って試験場第1事務室にて、集合時間までに所定の手続きをしてください。

(ウ) 所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・筆記用具（和歌・格言等が印刷されているものは不可）
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これら以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。

なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（6ページ）が必要です。）

(エ) 不正行為について

試験中に不正行為等があった者に対しては、受験を停止し、かつ、すべての試験を無効とします。また、悪質な場合は、警察に被害届を提出する場合があります。詳細は試験の1週間前までを目処に本学ホームページに掲載する「受験上の注意事項」をよく確認してください。

(オ) そ の 他

- ① 本学ホームページにて試験会場や受験上の注意事項について試験の1週間前までを目途にお知らせいたしますので、必ず確認してください。
- ② 当該試験開始時刻から20分経過後の遅刻者は、受験することができません。
- ③ 交通事情等を考慮し、余裕をもって試験場に到着するようにしてください。福岡県外からの受験者は特に余裕を持って交通機関等の予約を行ってください。
- ④ 実技検査及び面接は、17時まで終了する予定ですが、受験者数又は試験実施上の理由によっては終了しないこともあります。帰りの交通機関等の予約には注意してください。
- ⑤ 本学の最寄りのJR教育大前駅には快速列車は停車しませんので、乗車の際には十分注意してください。また、必ず鹿児島本線経由の列車に乗車ください。筑豊本線（福北ゆたか線）では経路が違います。

5. 障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下表参照）で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願の前に、あらかじめ本学へ相談してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

区分	受験上及び修学上の配慮の対象となる者
視覚障害	1 点字による教育を受けている者 2 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 3 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 4 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴覚障害	1 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 2 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	1 体幹の機能障害により座位を保つことができない者または困難な者 2 両上肢の機能障害が著しい者 3 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度の者またはこれに準ずる者
発達障害	学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
その他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外で配慮を必要とする者

※ 配慮の対象となる者は、大学入試センターの受験案内に準じて設定しています。

※ 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参して受験する場合は、試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので注意してください。

(1) 相談の期限

令和6年1月4日（木）まで

注1) 期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は、できるだけ早く下記(3)の連絡先に問い合わせてください。

注2) 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮を受けられないことがあります。

(2) 相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は、その写しを添えて申請（郵送可）してください。

ア. 試験日程（前期、後期の別）、志望課程及びプログラム・専攻等

イ. 氏名、年齢、住所、電話番号

ウ. 障害の種類・程度

エ. 受験上及び修学上の配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は、その写しを添付してください。）

オ. 在籍（出身）学校の名称、及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項

カ. 日常生活の状況

【本学ホームページ：障害等のある入学志願者の事前相談について】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html>

(3) 連絡先

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号
福岡教育大学 入試課
TEL 0940-35-1235

6. 試験期日

前期日程	令和6年2月25日(日), 2月26日(月)
後期日程	令和6年3月12日(火), 3月13日(水)

※ 上記の2日間のうち実施する期日・時間等については、課程及びプログラム・専攻等によって異なりますので、22～24ページの「8. 試験時間割」を参照してください。

7. 入学者選抜方法等

- (ア) 合格者の選考は、大学入学共通テスト（令和6年度大学入学共通テストの成績のみを使用します。）及び本学が実施する個別学力検査等の成績と調査書，その他提出書類等を総合して行います。なお，個別学力検査等において，必要とする教科・科目等のすべてを受験した者以外は欠席者として取り扱います。
- (イ) 大学入学共通テストと個別学力検査等の成績の合計得点順に合否を決定します。
- (ウ) 面接の評価は原則として点数により行います。
- (エ) 合格最低点での同点者は，全員合格とします。
- (オ) 各課程の入学定員に欠員が生じた場合には，上記の基準により総合計得点の高い順に追加合格者を決定します。追加合格における同点者については，個別学力検査等の高得点者の順に順位を付けます。

(1) 入学者選抜の実施教科・科目等について

一般選抜で，本学が指定する令和6年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は，次頁の【別表1】及び【別表2】のとおりです。

- ◎ 本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していなかった場合は，前期日程及び後期日程を受験することができませんので注意してください。また，個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は，選抜の対象としません。
- ◎ 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングを含みますが，その試験を欠席した場合は，リスニングの得点は0点として取り扱います。ただし，大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者を除きます。

【別表1】 大学入学共通テストの教科・科目名・配点等

科目 パターン	教科	科目名等	配点	配点合計
A (文系型)	国語	国語 (必須)	200	900
	地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から2科目 200	
	数学	数I, 数I・数Aから1科目 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1科目	200	
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目 または 物理, 化学, 生物, 地学から1科目	100	
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1科目	200	
	〔5教科7科目若しくは8科目〕または〔6教科7科目若しくは8科目〕			
A (文系型) 傾斜配点有	国語	国語 (必須)	400	1500
	地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から2科目 400	
	数学	数I, 数I・数Aから1科目 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1科目	200	
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目 または 物理, 化学, 生物, 地学から1科目	100	
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1科目	400	
	〔5教科7科目若しくは8科目〕または〔6教科7科目若しくは8科目〕			
B (理系型)	国語	国語 (必須)	200	900
	地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1科目 100	
	数学	数I, 数I・数Aから1科目 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1科目	200	
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目及び 物理, 化学, 生物, 地学から1科目 または 物理, 化学, 生物, 地学から2科目	200	
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1科目	200	
	〔5教科7科目または8科目〕			
B (理系型) 傾斜配点有	国語	国語 (必須)	200	1500
	地歴 公民	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1科目 100	
	数学	数I, 数I・数Aから1科目 数II, 数II・数B, 簿・会, 情報から1科目	400	
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目及び 物理, 化学, 生物, 地学から1科目 または 物理, 化学, 生物, 地学から2科目	400	
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1科目	400	
	〔5教科7科目または8科目〕			

【注意事項】

①各教科の科目名は次のように略記しています。

地理歴史・・・「世界史A」→世A, 「世界史B」→世B, 「日本史A」→日A, 「日本史B」→日B
 公民・・・「現代社会」→現社, 「倫理」→倫, 「政治・経済」→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経
 数学・・・「数学I」→数I, 「数学I・数学A」→数I・数A, 「数学II」→数II,
 「数学II・数学B」→数II・数B, 「簿記・会計」→簿・会, 「情報関係基礎」→情報
 外国語・・・「英語」→英, 「ドイツ語」→独, 「フランス語」→仏, 「中国語」→中, 「韓国語」→韓

②「地理歴史」及び「公民」については、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せをいいます。

③「理科」については、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において、同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」及び「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

④「数学」において、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者または専修学校の高等課程を修了した(見込みを含む。)者に限ります。

⑤「外国語」の「英語」は、「リーディング」及び「リスニング」とします。

※「英語」の配点内訳は、リーディング100点、リスニング100点とします。なお、リスニングを免除された者については、リーディング100点満点の得点を2倍にした成績を採用します。

⑥指定した教科・科目数を超過して受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を採用します。

ただし、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験したうち1科目のみを用いる場合(Bパターン及び⑥パターン選択時)、又は、「理科」(「物理」、「生物」、「地学」)から2科目を受験したうち1科目のみを用いる場合(Aパターン及び④パターン選択時)は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目、後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用します。

【別表2】大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

学部 〔令和5年度 志願倍率〕 入学定員	課程及びプログラム・専攻等	募集人員	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通 テスト科目パターン 〔別表1参照〕	大学入学 共通テスト 配点合計	個別学力検査等		個別学力検査等の配点等										大学入学共 通テスト個 別学力検査 等配点合計	特別の選抜方法等						
						教科等	科目名等	国語	数学	理科	外国語	小論文	実技検査	面接	理論	口頭試問	調査書			配点 合計					
教育学部 〔3.6〕 615名 前期 379 後期 107 その他 129	幼児教育プログラム	20名	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	面接 調査書①										200			10	210	1110	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充		
		前期 12 その他 8																							
	小学校教育専攻プログラム	85名	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	面接 調査書①											200			10	210	1110	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充	
		前期 46 後期 15 その他 24						後期 3月12日、13日	A又はB	900	その他	小論文													
	人文・社会教育プログラム	115名	前期 2月25日、26日	A	1500	その他	面接 調査書①											200			10	210	1710	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充	
		前期 60 後期 45 その他 10						後期 3月12日、13日	A	1500	その他	小論文													
	理数教育プログラム	65名	前期 2月25日、26日	B	1500	数学又は 理科 ②③ その他	面接 調査書①												100			10	410	1910	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
		前期 40 後期 10 その他 15						後期 3月12日、13日	B	1500	その他	小論文													
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)	20名程度	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	実技検査 音楽理論 面接 調査書①										300	100	100		10	510	1410	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
			前期 10名程度 その他 10名程度																						
		(美術系科目)	20名程度	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	実技検査 面接 調査書①										400	100			10	510	1410	
			前期 10名程度 その他 10名程度																						
		(体育系科目)	30名程度	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	実技検査 面接 調査書①										400	100			10	510	1410	
	前期 20名程度 その他 10名程度																								
	(家庭系科目)	20名程度	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文 面接 調査書①										400	100			10	510	1410		
前期 12名程度 その他 8名程度																									
(技術ものづくり 系科目)	10名程度	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	面接 口頭試問 調査書①										100		400	10	510	1410				
前期 5名程度 その他 5名程度																									

【注意事項】

- ①「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行います。
- ②前期日程の初等教育教員養成課程理数教育プログラムでは、「数学」又は「理科」から1科目を選択してください。「理科」を選択する場合はさらに「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1科目選択してください。
なお「数学」、「理科」の教科間で得点の調整(中央値補正)を行います。
- ③「数学」は、数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数Bを範囲とし、「数学A」は、『場合の数と確率』及び『整数の性質』を、「数学B」は、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
- ④配点に*印を付してある教科は、同じ印の中での選択教科を表します。

学部 〔令和5年度 志願倍率〕 入学定員	課程及びプログラム・専攻等		募集人員	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通 テスト科目ハ ターム【別表1 参照】	大学入学 共通テスト 配点合計	個別学力検査等		個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等							
							教科等	科目名等	国語	数学	理科	外国語	小論文	実技検査	面接	理論	口頭試問	調査書		配点 合計						
教育学部 〔3.6〕 615名 前期 379 後期 107 その他 129	中 等 教 育 教 員 養 成 課 程	中 等 教 育 ブ ロ グ ラ ム	国語専攻	12名 前期 12 その他 若干	前期 2月25日、26日	A	900	国語 その他	国語① 小論文②	400					100						500	1400	外国人 追加合格 欠員補充			
			社会科専攻	12名 前期 12 その他 若干	前期 2月25日、26日	A	900	その他	小論文③								100 300						400	1300	外国人 追加合格 欠員補充	
			数学専攻	28名 前期 20 後期 8 その他 若干	前期 2月25日、26日	B	900	数学④ その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 小論文②			400					100						500	1400	外国人 追加合格 欠員補充	
					後期 3月12日、13日	B	900	数学④ その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 小論文②			400					100					500	1400			
			理科専攻	35名 前期 27 後期 8 その他 若干	前期 2月25日、26日	B	900	理科 その他	「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択 小論文②			400					100						500	1400	外国人 追加合格 欠員補充	
					後期 3月12日、13日	B	900	その他	小論文② 面接(口頭試問を含む。)[口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択]							400						500	1400			
			英語専攻	10名 前期 10 その他 若干	前期 2月25日、26日	A	900	外国語 その他	英語⑤ 小論文②								400	100						500	1400	外国人 追加合格 欠員補充
			音楽専攻	15名 前期 8 その他 7	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文② 実技検査 音楽理論								100	500		100				700	1600	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
			美術専攻	10名 前期 5 その他 5	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文② 実技検査 面接								100	200	100					400	1300	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
			保健体育専攻	18名 前期 12 その他 6	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文② 実技検査								100	500						600	1500	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
			家庭専攻	10名 前期 7 その他 3	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文⑥								100 300							400	1300	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充
			技術専攻	10名 前期 5 後期 5 その他 若干	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文② 面接								100		200					300	1200	外国人 追加合格 欠員補充
					後期 3月12日、13日	A又はB	900	その他	小論文② 面接								100		200					300	1200	
書道専攻	10名 前期 7 その他 3	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	小論文② 実技検査 面接								100	500	100					700	1600	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充			
特別支援教育初等教育プログラム	40名 前期 25 後期 10 その他 5	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	面接 (口頭試問を含む。)										200					200	1100	学校推薦型選抜 外国人 追加合格 欠員補充			
		後期 3月12日、13日	A又はB	900	その他	小論文 調査書⑦								200				10			210	1110				
特別支援教育中等教育プログラム	20名 前期 14 後期 6 その他 若干	前期 2月25日、26日	A又はB	900	その他	面接 (口頭試問を含む。)										200					200	1100	外国人 追加合格 欠員補充			
		後期 3月12日、13日	A又はB	900	その他	小論文 調査書⑦								200					10		210	1110				

【注意事項】

- ①「国語」は、「国語総合」、「現代文A」、「現代文B」、「古典A」、「古典B」を出題範囲とします。
- ②中等教育教員養成課程の各専攻では、中等教育教員養成課程共通の「小論文」(配点:100点)を課します。
- ③中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻では、中等教育教員養成課程共通の「小論文」(配点:100点)と中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻の「小論文」(配点:300点)を課します。
- ④「数学」は、数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数Bを範囲とし、「数学A」は、『場合の数と確率』及び『整数の性質』を、「数学B」は、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。
- ⑤「英語」は、リーディング・ライティング・リスニングを課します。
- ⑥中等教育教員養成課程中等教育プログラム家庭専攻では、中等教育教員養成課程共通の「小論文」(配点:100点)と中等教育教員養成課程中等教育プログラム家庭専攻の「小論文」(配点:300点)を課します。
- ⑦「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行います。

(2) 実技検査を課す課程及びプログラム・専攻等の内容について

課程及びプログラム・専攻等	該当ページ
① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)	1 2
② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻	1 3 ~ 1 4
③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (美術系科目)	1 5
④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻	1 5
⑤ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (体育系科目)	1 6, 1 8
⑥ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻	1 7 ~ 1 8
⑦ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻	1 8

① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)

【前期日程】

受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】実技検査

※受験者は、2部門(①歌唱、②ピアノ)を必ず演奏してください。

①歌唱

A 小学校歌唱共通教材

以下の4曲より任意の1曲を選び、暗譜で演奏してください。

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------------|
| ・茶つみ | 文部省唱歌 | (ト長調) | <u>2番まで</u> |
| ・まきばの朝 | 文部省唱歌 | (ハ長調) | <u>1番のみ</u> |
| ・こいのぼり | 文部省唱歌 | (ヘ長調) | <u>2番まで</u> |
| ・ふるさと | 文部省唱歌 | (ヘ長調) | <u>1番のみ</u> |

注 (ア) A小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。

(イ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

B 歌曲

以下の歌曲より任意の1曲を選び、暗譜で演奏してください。

- | | | |
|-------------------|----------|--------|
| ・はる | 團 伊玖磨作曲 | (変ト長調) |
| ・むこうむこう | 中田 喜直作曲 | (ヘ長調) |
| ・Lasciar d'amarti | ガスパリーニ作曲 | (ヘ短調) |
| ・Vaga luna | ベッリーニ作曲 | (変イ長調) |

注 (ア) B歌曲を指定以外の調で演奏する者は、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

(イ) 演奏は原語とします。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

②ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏してください。

KV280, KV283, KV309, KV330, KV332, KV457, KV545

注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。

(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】音楽理論

楽典の筆記試験を課します。

【Ⅲ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻

【前期日程】

受験する者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ】、【Ⅳ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】 共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（①視唱、②声楽、③ピアノ）を必ず演奏してください。

①視唱

コールユーブンゲン第1巻、原書 No.1 ～ No.85 までの中から、当日指定したものを演奏してください。

②声楽

下記の歌曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- | | | |
|-------------------------|-----------|--------|
| ・ Caro laccio | ガスパリーニ作曲 | (変ホ長調) |
| ・ Se tu della mia morte | スカルラッティ作曲 | (へ短調) |
| ・ Ideale | トスティ作曲 | (イ長調) |
| ・ O del mio amato ben | ドナウディ作曲 | (変イ長調) |

注 (ア) 歌曲を指定以外の調で演奏する者は、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

(イ) 演奏は、原語とします。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

③ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の1曲を選び、演奏してください。

- ・ インヴェンション BWV772 ～ BWV786 (ただし、BWV772 ハ長調、BWV773 ハ短調、BWV774 ニ長調、BWV775 ニ短調、BWV779 ヘ長調、BWV781 ト長調は除く)
- ・ シンフォニア BWV787 ～ BWV801 (ただし、BWV791 変ホ長調は除く)
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 BWV846 ～ BWV869 のフーガ
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻 BWV870 ～ BWV893 のフーガ

注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。

(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

(次ページへ続く)

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※下の 1. から 4. までの 4 種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

1. ピアノで受験する者

ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の 1 曲を選び、その第 1 楽章又は終楽章を演奏してください。ただし、Op.26, Op.27-1, Op.27-2 (第 1 楽章), Op.49-1, Op.49-2, Op.54, Op.79 は除きます。

- 注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 声楽で受験する者

任意の歌曲 (オペラ又はオラトリオの aria を含む) を 1 曲、**暗譜**で演奏してください。
ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 ②声楽で課題として指定した曲を除きます。

- 注 (ア) 伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。
提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
(イ) 演奏は原語とし、演奏時間は 4 分以内とします。
(ウ) 歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオの aria については、原調で演奏してください。
(エ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. 管楽器または弦楽器で受験する者

任意の 1 曲又は、一つの楽章を選び演奏してください。
なお、入試で選択できる楽器は以下の通りです。

フルート、オーボエ、クラリネット (標準サイズ B \flat 管または A 管)、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

- 注 (ア) 繰り返しはすべて省略してください。
(イ) 試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。
(ウ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
(エ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

4. 作曲で受験する者

4 声体による和声課題 (バス課題, ソプラノ課題またはその混合課題とし、非和声音を含む程度) を 1 題課します。

【試験時間 120 分】

【Ⅲ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅳ】音楽理論

楽典及び音楽史・音楽理論全般について問う筆記試験を課します。

③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (美術系科目)

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

構想画を課します。(読書感想画など)

- 注・鉛筆，水彩絵の具，筆，パレット，筆洗，雑巾を持参してください。
- ・クレヨン等の彩色用具の持参，使用も可能です。
 - ・画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。

【Ⅱ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

鉛筆画を課します。(静物)

- 注・鉛筆，消し具等鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- ・画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
 - ・はかり棒のみ使用を認めます。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

⑤ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (体育系科目)

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 専門種目

陸上競技, 競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球, ダンス, 柔道, 剣道

上記の中から1種目を選択しますが, 上記種目に該当する専門種目がない場合でも, 必ず上記の種目の中から1種目を選択し, 本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し, 志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については, 出願後変更できません。

2. 選択種目

4つの選択種目(走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンス)から2つの種目を選び, **マット運動と合わせて, 合計3種目を受験してください。**

ただし, 上記の「1. 専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって, 種目の選択にあたっては, 下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については, 出願後変更できません。

(1) 専門種目で「陸上競技」を受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種目
マット運動(必須)
柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目

(2) 専門種目で「競泳, バレーボール, バasketボール, サッカー, 硬式野球」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目を受験してください。

種目
マット運動(必須)
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目

(3) 専門種目で「ダンス, 柔道, 剣道」のいずれかを受験する者は, 下の表に示す種目のうち, **専門種目以外の種目**を受験してください。

種目
マット運動(必須)
走り幅跳び, 柔道, 剣道, 創作ダンスの中から2種目

※専門種目で「ダンス」を受験する者は, 選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※専門種目で「柔道」を受験する者は, 選択種目で「柔道」は選択できません。

※専門種目で「剣道」を受験する者は, 選択種目で「剣道」は選択できません。

注 18ページの「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】面接

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム共通の面接を課します。

⑥ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 専門種目

陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の中から1種目を選択しますが，上記種目に該当する専門種目がない場合でも，必ず上記の種目の中から1種目を選択し，本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し，志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については，出願後変更できません。

2. 選択種目

4つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から2つの種目を選び，**マット運動と合わせて，合計3種目を受験してください。**

ただし，上記の「1. 専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって，種目の選択にあたっては，下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については，出願後変更できません。

(1) 専門種目で「陸上競技」を受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

(2) 専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

(3) 専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目のうち，**専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

※専門種目で「ダンス」を受験する者は，選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※専門種目で「柔道」を受験する者は，選択種目で「柔道」は選択できません。

※専門種目で「剣道」を受験する者は，選択種目で「剣道」は選択できません。

注次ページの「◎実技検査受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

◎実技検査受験上の注意

(ア) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ、約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・「中体○○○」

ただし、次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は、背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は、袋状のゼッケンを作成し、タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・競泳、ダンスの場合は、何も縫いつけなくて構いません。

(イ) 専門種目で使用するウェア、シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む）、剣道具、竹刀、槍、スミシングキャップ、バット（金属可）、グローブ等の個人用具は、すべて各自持参してください。

ダンスで専門種目を受験する者は、自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分30秒以内）を用意し、音楽については、CD又はUSBメモリを各自用意してください。（ただし、無音も可。）

なお、作品用衣装がある場合は、着用して演技してください。また、CDについては、パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ、持参してください。

（CDが再生できない場合は、無音での実技となります。）

(ウ) 選択種目で使用するウェア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む）、シューズは、各自持参してください。

なお、選択種目の「剣道」で使用する防具、竹刀等は、大学で用意しますが、自己のものを使用しても構いません。

(エ) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

⑦ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

【前期日程】

【Ⅰ】実技検査

以下の1. 2. をすべて受験してください。

1. 臨書課題

用紙は画仙紙半切、半紙等を使用します。

2. 創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。（自由に切って表現しても構いません。ただし、全紙1/4より大きい作品にしてください。）

注 (ア) 筆、墨、硯、下敷、文鎮、ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。用紙は当日配布します。また、持参した用紙は、使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 以下の条件をすべて満たす書籍に限り、字典の持ち込みを認めます。

①書籍販売されていること。

②古典作品を集字したもの。

③五書体全てを含んでいるもの。

④特定の人物の書を集字したものでないこと。（例 趙之謙字典、王鐸字典など）

【Ⅱ】小論文

中等教育教員養成課程共通の小論文を課します。

【Ⅲ】面接

(3) 小論文, 実技検査, 面接, 口頭試問の評価の観点
 〈前期日程〉

課 程	プログラム・専攻等	観 点 等	
初 等 教 育 教 員 養 成 課 程	幼児教育プログラム	■面接は、個別で行います。この面接で、幼児教育者になろうとする意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。	
	小学校教育専攻プログラム	■面接は、集団で行います（討論を含みます）。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。	
	人文・社会教育プログラム	■面接は、集団で行います（討論を含みます）。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。	
	理数教育プログラム	■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、理数教育プログラムで学びに向かう姿勢を評価します。	
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)	○実技検査は、演奏に関して、楽譜の読み方が適切になされているかどうか、必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか、音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から、総合的に評価します。 *音楽実技検査票は、音楽実技検査の準備等のために提出していただき、その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(美術系科目)	○実技検査は、平面における基礎描写力や用具の使い方等の基本的な造形力について、総合的に評価します。 ■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(体育系科目)	○実技検査は、専門種目では、種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能(集団種目については、個人的技能や集団的技能を含む。)について実技検査します。選択種目は、専門種目以外の種目を選択し、種目の特性に応じた技能について実技検査します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。 *競技歴調査書は、体育実技検査の準備等のために提出していただき、その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(家庭系科目)	◆小論文(家庭)は、家庭(家庭基礎、家庭総合)に関する内容について論述解答してもらいます。本プログラムで学ぶために必要な生活事象に関わる課題の理解力、読解力、論理的思考力、表現力等から総合的に評価します。 ■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(技術ものづくり系科目)	◇口頭試問は、個別で行います。技術ものづくり(設計・製作、プログラミング、エネルギーの利用、動植物の育成)の内容から試問し、芸術・実技教育プログラムに対する適性、資質、能力等を総合的に評価します。 ■面接は、個別で行います。教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。

○調査書については、勉学意欲を十分に備えているか等を判断するための資料にします。

課 程	プログラム・専攻等	観 点 等	
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	全 専 攻	◆ 小論文（中等共通） は、教職への意欲、学校教育に関わる課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等の観点から評価します。
		社 会 科 専 攻	◆ 小論文（社会科） は、社会を考える内容について、所定の字数で論述解答してもらいます。本専攻で学ぶために必要な、読解力・分析力・表現力・論理性などの資質をみるのが主眼です。
		音 楽 専 攻	○ 実技検査 は、演奏に関して、楽譜の読み方が適切になされているかどうか、必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか、音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から、総合的に評価します。 * 音楽実技検査票 は、音楽実技検査の準備等のために提出していただいています。音楽実技検査票の記載内容は、検査当日の実技内容と一致していなければなりません。しかし、それらが一致していれば、この記載そのものが評価を左右することはありません。
		美 術 専 攻	○ 実技検査 は、平面における基礎的描写力や構成力等の基礎的資質について、総合的に評価します。 ■ 面接 は、個別で行います。美術に関する活動経験や体験、教育に対する意欲等を述べてもらい、本専攻で学ぶための表現能力を総合的に評価します。
		保 健 体 育 専 攻	○ 実技検査 は、専門種目では、種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能(集団種目については、個人的技能や集団的技能を含む。)について実技検査します。 選択種目は、専門種目以外の種目を選択し、種目の特性に応じた技能について実技検査します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。 * 競技歴調査書 は、体育実技検査の準備等のために提出していただいています。競技歴調査書の記載内容は、検査当日の実技内容と一致していなければなりません。しかし、それらが一致していれば、この記載そのものが評価を左右することはありません。
		家 庭 専 攻	◆ 小論文（家庭） は、家庭（家庭基礎、家庭総合）に関する内容について論述解答してもらいます。本専攻で学ぶために必要な生活事象に関わる課題の理解力、読解力、論理的思考力、表現力等から総合的に評価します。
		技 術 専 攻	■ 面接 は、集団で実施し、志望動機や自己アピールなどのほか、提示された課題について集団で討論していただきます。この面接で、志願者の質問への答え方や学修意欲、本専攻に対する適性、積極性、討論する能力、教師への意欲などを総合的に評価します。
		書 道 専 攻	○ 実技検査 は、臨書課題において、高等学校芸術科書道の教科書に掲載されている種々の古名跡について、臨書表現の基礎的資質を評価します。また、創作課題においては、制作力の基礎的資質を評価します。 ■ 面接 は、集団で行います。この面接で、基礎的な教師の資質や本専攻に対する適性などを総合的に評価します。
特別支援 教育教員 養成課程	特別支援教育初等教育 プログラム	■ 面接（口頭試問を含む。） は、個別で行います。受験者の答えから、理解・思考・表現する能力や教職への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。	
	特別支援教育中等教育 プログラム	■ 面接（口頭試問を含む。） は、個別で行います。受験者の答えから、理解・思考・表現する能力や教職への意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価します。	

○調査書については、勉学意欲を十分に備えているか等を判断するための資料にします。

〈後期日程〉

課 程	プログラム・専攻等	観 点 等
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム	◆小論文は、教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識、読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
	人文・社会教育プログラム	◆小論文は、教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識、読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
	理数教育プログラム	◆小論文は、教育に関わる内容を出題します。教育に対する関心や問題意識、読解力及び論理的に思考し自らの考えを適切に表現する文章構成力等を評価します。
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	全専攻 ◆小論文（中等共通）は、学校教育や教科に関連する課題について出題し、課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等の観点から評価します。
		理科専攻 ■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。自然科学に関する基礎知識や理解度と適切な表現力、自然科学を教える教師としての資質や姿勢、修学意欲及び社会活動への参加意欲などの観点から総合的に評価します。
		技術専攻 ■面接は、集団（1グループ複数名）で実施し、志望動機や自己アピールなどのほか、提示された課題について集団で討論していただきます。この面接で、志願者の質問への答え方や学修意欲、本専攻に対する適性、積極性、討論する能力、教師への意欲などを総合的に評価します。
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	◆小論文は、論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力、ならびに主体的かつ協働的な学び、教職への意欲等の観点から評価します。
	特別支援教育中等教育プログラム	◆小論文は、論理的に思考・判断してそれを文章で表現する力、ならびに主体的かつ協働的な学び、教職への意欲等の観点から評価します。

○調査書については、勉学意欲を十分に備えているか等を判断するための資料にします。

8. 試験時間割

(1) 前期日程

※9～10ページの表中の「個別学力検査等」欄に指定された教科・科目を下表の時間割に従い受験してください。試験開始20分前には入室してください。受験の際には、本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し、受験番号を確認の上、必ず持参してください。

【2月25日（日）】

		9:00	10:00	11:00	12:30	13:00	13:50	14:10	14:30	15:30	17:00	
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム			面接 9:00～(注1) (8:30に控室へ集合)								
	小学校教育専攻プログラム			面接 9:00～(注1)								
	人文・社会教育プログラム			面接 10:00～(注1)								
	理数教育プログラム				数学 12:30～14:10							
					理科 12:30～13:50							
芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)			面接 9:00～		実技検査 面接終了後						
	(美術系科目)			面接 9:00～		実技検査 面接終了後(180分)						
	(体育系科目)			面接 9:00～(注1)				実技検査(専門種目) 13:00～ (12:30に体育館へ集合)				
	(家庭系科目)			面接 9:00～(注1)		小論文(家庭) 12:30～13:50						
	(技術ものづくり系科目)			面接 9:00～		口頭試問(技術ものづくり) 12:30～						
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	国語専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		国語 12:30～14:30						
		社会科専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		小論文(社会科) 12:30～14:10						
		数学専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		数学 12:30～14:30						
		理科専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		理科 12:30～13:50						
		英語専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		外国語(英語) 12:30～14:10(注2)						
		音楽専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00								
		美術専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		実技検査 12:30～15:30						
		保健体育専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		実技検査(専門種目) 13:00～ (12:30に体育館へ集合)						
		家庭専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		小論文(家庭) 12:30～13:50						
		技術専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00								
		書道専攻		小論文(中等共通) 10:00～11:00		面接 12:30～						
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム			面接(口頭試問を含む。) 9:00～(注3)								
	特別支援教育中等教育プログラム			面接(口頭試問を含む。) 9:00～(注3)								

(注1) 初等教育教員養成課程幼児教育プログラム、小学校教育専攻プログラム、人文・社会教育プログラム、芸術・実技教育プログラム(体育系科目)及び芸術・実技教育プログラム(家庭系科目)の面接については、受験者数又は試験実施上の理由により2月26日(月)にも実施することがあります。なお、実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

(注2) 中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻の「リスニングテスト」は、学力検査「外国語(英語)」の時間中に行います。

(注3) 特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び特別支援教育中等教育プログラムの面接(口頭試問を含む。)については、受験者数又は試験実施上の理由により2月26日(月)にも実施することがあります。なお、実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

(1) 前期日程

※9～10ページの表中の「個別学力検査等」欄に指定された教科・科目を下表の時間割に従い受験してください。試験開始20分前には入室してください。受験の際には、本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し、受験番号を確認の上、必ず持参してください。

【2月26日（月）】

		9:00	10:00	10:30	11:30	13:00	17:00
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム		面接 9:00～(注1) (8:30に控室へ集合)				
	小学校教育専攻プログラム		面接 10:00～(注1)				
	人文・社会教育プログラム		面接 10:00～(注1)				
	理数教育プログラム		面接 10:00～				
	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)		音楽理論 9:00～10:00			
(美術系科目)							
(体育系科目)			実技検査(選択種目)9:00～ (8:30に体育館へ集合)				面接 13:00～(注1)
(家庭系科目)							面接 13:00～(注1)
(技術ものづくり系科目)							
中等教育教員養成課程	国語専攻						
	社会科専攻						
	数学専攻						
	理科専攻						
	英語専攻						
	音楽専攻		音楽理論 9:00～10:00			実技検査 10:30～	
	美術専攻		面接 9:00～				
	保健体育専攻		実技検査(選択種目)9:00～ (8:30に体育館へ集合)				
	家庭専攻						
	技術専攻		面接 9:00～				
	書道専攻		実技検査 9:00～11:30				
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		面接(口頭試問を含む。) 9:00～(注2)				
	特別支援教育中等教育プログラム		面接(口頭試問を含む。) 9:00～(注2)				

(注1) 初等教育教員養成課程幼児教育プログラム、小学校教育専攻プログラム、人文・社会教育プログラム、芸術・実技教育プログラム(体育系科目)及び芸術・実技教育プログラム(家庭系科目)の面接については、受験者数又は試験実施上の理由により2月26日(月)に実施となることもあります。なお、実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

(注2) 特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び特別支援教育中等教育プログラムの面接(口頭試問を含む。)については、受験者数又は試験実施上の理由により 2月26日(月)にも実施となることもあります。なお、実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

(2)後期日程

※9～10ページの表中の「個別学力検査等」欄に指定された教科・科目を下表の時間割に従い受験してください。試験開始20分前には入室してください。受験の際には、本学の受験票を各自でダウンロードして印刷し、受験番号を確認の上、必ず持参してください。

【3月12日（火）】

		10:00	11:00	11:40	12:30	14:30	17:00
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム		小論文 10:00～11:00				
	人文・社会教育プログラム		小論文 10:00～11:00				
	理数教育プログラム		小論文 10:00～11:00				
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	小論文(中等共通) 10:00～11:00		数学 12:30～14:30		
		理科専攻	小論文(中等共通) 10:00～11:00		面接(口頭試問を含む。) 12:30～		
		技術専攻	小論文(中等共通) 10:00～11:00		面接 12:30～		
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		小論文 10:00～11:40				
	特別支援教育中等教育プログラム		小論文 10:00～11:40				

※受験者数又は試験実施上の理由により3月13日(水)にも実施することがあります。なお、実施期日・時間等については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせします。

9. 試験場

福岡教育大学

- ※ 集合場所については本学ホームページにて試験の1週間前までを目処にお知らせいたしますので、必ず確認してください。
 なお、場合によっては、一部を本学の近接地に変更することがあります。この場合は、本学ホームページにてお知らせします。

10. 合格者発表

合格者発表は、次のとおりホームページで行います。

前期日程	令和6年3月7日(木)	12時00分
後期日程	令和6年3月21日(木)	10時00分

- ※ 合格者の発表は、受験番号のみ掲載します。
 ※ ホームページへの掲載は、本学が情報提供として行うものであり、合格者発表は、必ず合格通知書で確認してください。

◎合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を送付します。不合格者には特に通知しません。

【注意】

- ① 合格者発表から入学手続締切までの期間が極めて短いため、できるだけ早めに入学手続をしてください。
- ② 電話等による可否の問い合わせには応じられません。

(本学HP) <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>

11. 入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続を完了してください。詳細については、「合格通知書」及び入学手続関係書類を送付する際に通知します。

なお、手続を完了していない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

(1) 郵送による入学手続期限

前期日程と後期日程は、手続期限が異なります。合格者は必ず自分が合格した試験日程の手続期限までに入学手続をしてください。前期日程の合格者が後期日程の手続期間中に入学手続を行うことはできません。

- ・前期日程 令和6年3月15日(金)まで(必着) 郵送のみでの受付のためご注意ください。
- ・後期日程 令和6年3月27日(水)まで(必着)

(2) 窓口での入学手続期間

後期日程の受験者は、事情により郵送による入学手続ができない場合は次の日程に限り窓口での入学手続を受け付けます。

なお、前期日程は窓口での入学手続は受け付けません。

- ・後期日程 令和6年3月27日(水)
- ・受付時間 午前9時から12時までの間

○留意事項

- (ア) 一つの国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部の入学手続を行うことはできません。
- (イ) 本学の受験票及び大学入学共通テスト受験票は、入学手続の際に必要となりますので、絶対に紛失しないように注意してください。

12. 入学料・授業料等

(1) 入学料・授業料

入学料		282,000円	
授業料	前期分	267,900円	
授業料	後期分	267,900円	(年額 535,800円)

- ① 上記の金額は、令和5年度入学者の金額であり、令和6年度入学者については、変更される場合があります。

なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料となります。

- ② 特別の事情(学資負担者の死亡、風水害等による被災)又は経済的理由により、納入が著しく困難であると認められるときは、願い出により、入学料・授業料の免除及び徴収猶予を認めることがあります。

【注意】

「入学料の免除及び徴収猶予」の願い出は、「11.入学手続」中の入学手続期限までに必ず提出する必要があります。

- ※ 入学料・授業料の納入方法及び入学料・授業料免除等の詳細については、「合格通知書」等を送付する際にお知らせします。

(2) その他の経費（納入金）

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料
- ・ 学研災付帯賠償責任保険料
- ・ 自治会費
- ・ アルバム費
- ・ 後援会費
- ・ 同窓会費

※ 納入方法及び金額等の詳細については、「合格通知書」等を送付する際にお知らせします。

13. 追加合格

- (1) 令和6年3月27日（水）の入学手続締切期日の時点で、募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格者により補充することがあります。
- (2) **追加合格対象者への入学の意思確認については、令和6年3月28日（木）の9時から17時の間に電話により行います。したがって、前記「10. 合格者発表」で不合格（前期・後期とも対象）となった者は、志願票兼出願確認票に記載の「住所」に本人が待機し、連絡がとれるようにしてください。**
- (3) **合格者は、所定の期日までに本学に来学し、入学手続を完了してください。なお、完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。〔手続期間は3月29日（金）から3月31日（日）までの間で、受付時間帯は10時から17時までです。〕**
- (4) 電話等による合否の問い合わせには応じられません。
- (5) 追加合格の対象者への連絡が終了次第、ホームページにその旨のお知らせを掲載します。

14. ノートパソコンの必携（BYOD）について

福岡教育大学では、「情報機器の操作」（必修授業科目）をはじめとした様々な授業や、レポートの作成、教育実習、学校教育課題研究（卒業研究）など、数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。そのため、令和4年度の教育学部新生より、個人用ノートパソコンを必携（BYOD）としています。本学が推奨するノートパソコンの仕様については、本学ホームページに掲載しています。その他、ノートパソコンの必携に関する詳細については、合格者発表後にお知らせします。

【本学ホームページ】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/byod.html>

15. 入学者選抜試験個人成績の開示について

令和6年度入学者選抜に係る受験者の個人成績は、本人の申請に基づき次のとおり開示します。

1. 開示内容

○試験成績等

次の(a)(b)とします。

(a) 受験者の得点について

- ① 大学入学共通テストの合計得点を開示します。
- ② 個別学力検査等の合計得点を開示します。
- ③ 面接を点数化しない募集単位にあっては、その面接評価を開示します。

(b) 不合格者のランクについて

- ① 不合格者の得点をA・B・C・Dの4段階に区分し、合格最低点からの不足分が20点未満の場合をA、20点以上40点未満の場合をB、40点以上60点未満の場合をC、60点以上の場合をDとします。
- ② 合格最低点は、合格者（追加合格者は除外する。）の最低点とします。

2. 開示期間

令和6年5月1日（月）から令和6年6月30日（日）の間に簡易書留郵便で送付します。

※入試個人情報通知書は、出願時に入試個人情報通知書送付先の欄に入力された住所に郵送します。このため、出願時から開示期間終了までの間に転居等が予想される場合は、帰省先等、確実に通知書が受領できる住所を入力してください。**（高校・予備校の寮等の住所は記載しないでください。）**

注1) **令和6年6月頃発送の予定**です。6月中に届かない場合は入試課へご連絡ください。

注2) 「宛先不明」等で返送された場合、本学で保管するのは令和7年3月末日までとします。

3. 申込方法

- ・成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際、入試成績の開示請求の項目において「希望する」を必ず選択してください。
- ・**出願時に成績開示を希望しなかった場合は、出願後に成績開示を希望することはできません。**
- ・成績開示を希望する場合、開示請求手数料300円及び通知に係る郵送料434円を入学検定料と併せて支払う必要があります。
なお、入学検定料免除者の場合は、開示請求手数料も免除となりますが、通知に係る郵送料が必要となりますので、434円分の切手を出願必要書類と一緒に郵送してください。

【本学ホームページ：入学者選抜試験個人成績の開示について】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/release.html>

4. その他

令和5年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

16. 競技歴調査書の「専門種目の競技歴」記入上の注意等について

【専門種目の競技歴記入上の注意】

専門種目の競技歴に関し記入する際には、以下の事項及び本学所定の「競技歴調査書」中に記載された事項を熟読のうえ、作成してください。

- 競技歴調査書裏面の「専門種目の競技歴」の「Ⅰ. 出場大会名」欄には、高等学校3年間のうち、本人が出場し、競技(プレー)した大会の中で、大会レベルの高いものから順に2つ以内を選び、大会プログラム等を参考にその「正式な大会名」及び「開催日程(平成・令和 年 月 日 ~ 月 日)」を記入してください。なお、本人が大会にはエントリーされていても、実際に競技(プレー)しなかった大会は、この競技歴には該当しないため除外してください。
- 競技歴調査書裏面の「専門種目の競技歴」の「Ⅱ. 主催者(団体)」～「Ⅵ. 大会の成績」欄には、各欄の中から該当するものを選び、その番号に○を付けてください。この場合、以下のことに注意してください。
 - 「Ⅱ. 主催者(団体)」欄で「4. その他」を選んだ場合は、その主催者(団体)の正式名称を()内に記入してください。
 - 「Ⅳ. 大会出場方法」欄で「7. その他」を選んだ場合は、その出場方法を詳しく()内に記入してください。
 - 「Ⅴ. 出場した大会のレベル」欄で「5. その他」を選んだ場合は、その大会レベルを詳しく()内に記入してください。
 - 「Ⅵ. 大会の成績」欄には、「Ⅰ. 出場大会名」で記入した大会で、本人が出場し、競技(プレー)した試合の大会成績について、該当する成績を選んでください。なお、「6. 3回戦以上敗退」とは3回戦以上に進出し、ベスト16に進出できなかった場合です。また、「8. 予選(リーグ)敗退」とは、大会が予選(予選リーグ)と決勝(決勝トーナメント)に分けて行われる場合の予選(予選リーグ)のことです。大会の成績が総合順位で出される競技の場合は「9. その他」に○を付け、その順位を()内に記入してください。
- 競技歴調査書裏面の「専門種目の競技歴」の「Ⅶ. 添付資料の番号」欄には、添付資料の右上端に記入した「通し番号」を記入してください。

◎ 記入例

	Ⅰ. 出場大会名 (年月日～日)	Ⅱ. 主催者(団体)	Ⅲ. 出場した時の学年	Ⅳ. 大会出場方法	Ⅴ. 出場した大会のレベル	Ⅵ. 大会の成績	Ⅶ. 添付資料の番号
競技歴Ⅰ	第○回全国高等学校 ○○○選抜優勝大会 (平成○年○月○日～○日)	1. 高体連 2. 日体協 ③. 協会(競技団体) 4. その他()	1. 1学年 ②. 2学年 3. 3学年	1. ブロック大会で出場権を得て出場 ②. 県大会で出場権を得て出場 3. 地区大会で出場権を得て出場 4. 地区大会を経ずに出場 5. 選手として選抜され出場 6. チームが推薦されて出場	①. 全国大会 2. ブロック大会 3. 県大会 4. 地区大会 5. その他()	1. 1位 2. 2位 3. 3・4位 ④. 5位～8位 5. 9位～16位 6. 3回戦以上敗退	1～3
競技歴Ⅱ	第○回国民体育大会 (令和○年○月○日～○日)	1. 高体連 ②. 日体協 3. 協会(競技団体) 4. その他()	1. 1学年 2. 2学年 ③. 3学年	③. 地区大会で出場権を得て出場 4. 地区大会を経ずに出場 5. 選手として選抜され出場 6. チームが推薦されて出場 7. その他()	③. 県大会 4. 地区大会 5. その他()	4. 5位～8位 ⑤. 9位～16位 6. 3回戦以上敗退 7. 1・2回戦敗退 8. 予選(リーグ)敗退 9. その他()	4～9

【競技歴調査書の添付資料に関する注意】

〔1〕添付資料とは、競技歴調査書裏面の「専門種目の競技歴」に記入された大会の成績及び試合において、本人が実際に競技(プレー)したことを証明するものをいいます。具体的には、

- 「大会・競技会などのトーナメント表及び本人の成績や出場した記録が記載されている公式記録」
- 「新聞・雑誌の記事に本人の氏名や写真があるもの」※
- 「当該大会の主催者(団体)が公印にて本人の出場や成績を証明している文書(書式は任意)」

をいいます。なお、大会への参加申込書や登録選手一覧及びチームや個人がつけたスコアブックなどの資料は、大会に出場し、実際に競技(プレー)したことを証明する資料にはなりません。

※新聞記事等の切り抜きやコピーを添付資料として利用される場合は、出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。

〔2〕新聞・雑誌、写真(コピー可)などの添付資料は、A4サイズ(「競技歴調査書」と同じ大きさで横方向に使用)の用紙に切り貼りするなどして作成し、一枚ずつ右上端に「通し番号(1, 2, 3・・・)」をつけ、「競技歴調査書」の表面が表紙となるように、左上端を一括してホチキスでとじ、提出してください。また、本人やチームのことが記載されている箇所に赤色のアンダーラインあるいは黄色の蛍光ペンで印を付けてください。

17. 個人情報の利用について

個人情報の保護に関する法律に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報につきましては、次の(1)、(2)の入学者選抜に関わる業務のほか、(3)から(10)のとおり利用しますので、予めご了承ください。

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達します。
- (2) 入学者選抜に関わる業務の一部を業者に委託します。その場合、入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、委託業務の遂行のために限定した範囲で、かつ個人が特定できない形で利用します。
- (3) 合格者及び追加合格者の住所・氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (4) 入学手続き者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務及び健康診断等の健康管理に関わる業務で利用します。
- (5) 入学手続き者の住所・氏名等を入学料及び授業料徴収等の納入金管理に関わる業務で利用します。
- (6) 入学者選抜で取得した成績（「調査書」に記載されている成績を含む。）を、入学年度における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に関わる業務で利用します。
- (7) 入学者選抜を通じて取得した個人情報の一部又は全部を、個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務及び本学における教育改善のための調査研究で利用します。
- (8) (7)で得た統計処理等の結果や調査研究結果の一部又は全部を本学の教育研究活動、広報活動等の業務に利用する場合があります。
- (9) (7)及び(8)については、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。
- (10) 本学の関連団体である同窓会、学生自治会、後援会及び福岡教育大学生生活協同組合から、入会者確認等の業務を円滑に行うことを目的とした資料提供を求める申し出があった場合、入学手続き者の氏名等、当該利用目的に限定した範囲での資料を提供する場合があります。

※ 本学が取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律第27条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

18. 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、入学手続完了者が各課程の入学定員に満たず、必要と認める場合には、欠員補充第2次募集を行います。

募集を行う課程及びプログラム・専攻等は令和6年3月29日（金）までに発表しますので、本学のホームページ上で確認してください。

19. 出願状況等の情報提供

出願状況等については、次のとおりホームページで情報提供します。

(1) 出願状況

令和6年1月26日（金）～ 令和6年2月2日（金）

1月27日（土）～ 1月28日（日）は、出願状況の更新は行いません。

(2) 追加合格実施状況

令和6年3月28日（木）～ 令和6年3月31日（日）

【本学ホームページ】 <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>

大学所在地

〒811-4192

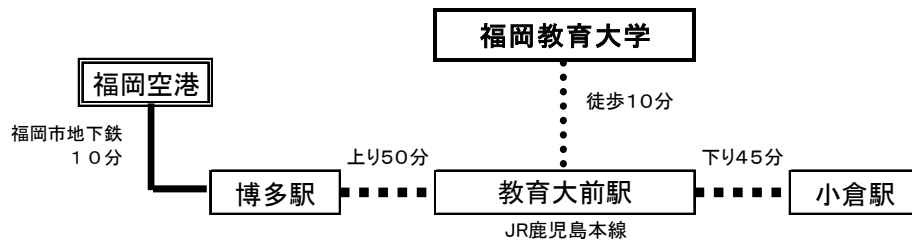
福岡県宗像市赤間文教町1番1号



【交通機関】

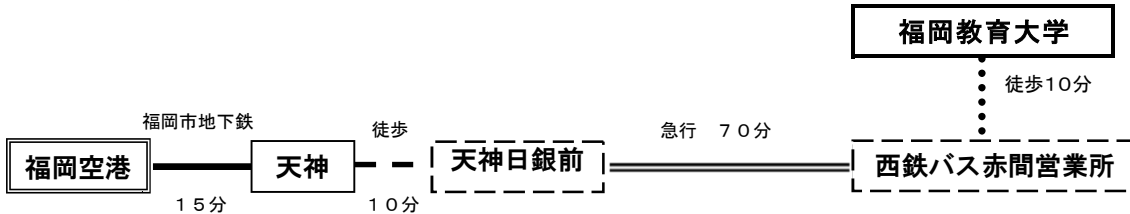
○JR利用の場合

- ・ JR鹿児島本線上り博多駅から普通電車で乗車（約50分）
- ・ JR鹿児島本線下り小倉駅から普通電車で乗車（約45分）

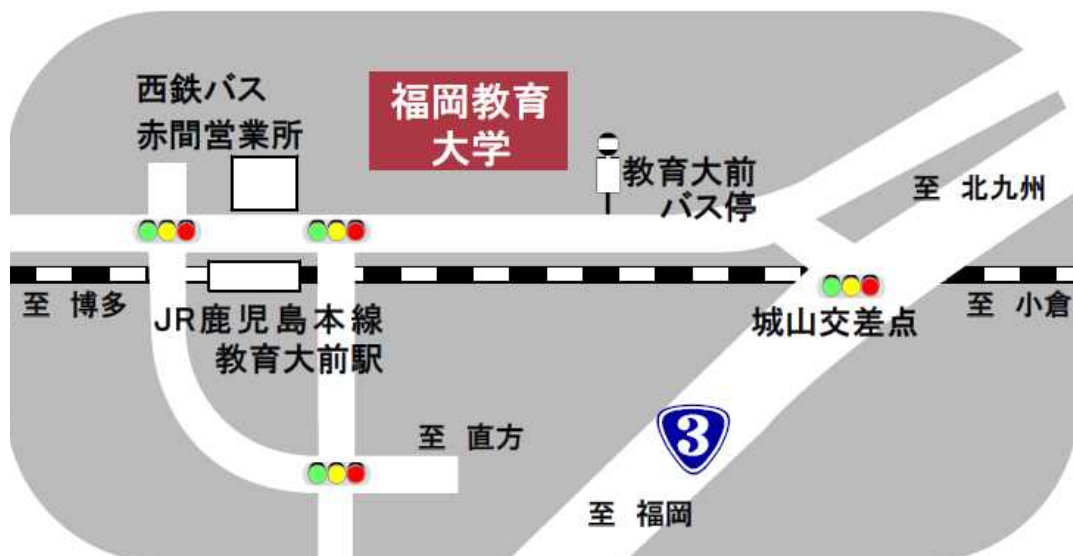


○西鉄バス利用の場合

- ・ 天神日銀前(19A) から西鉄バス赤間営業所行（急行）に乗車（約70分）



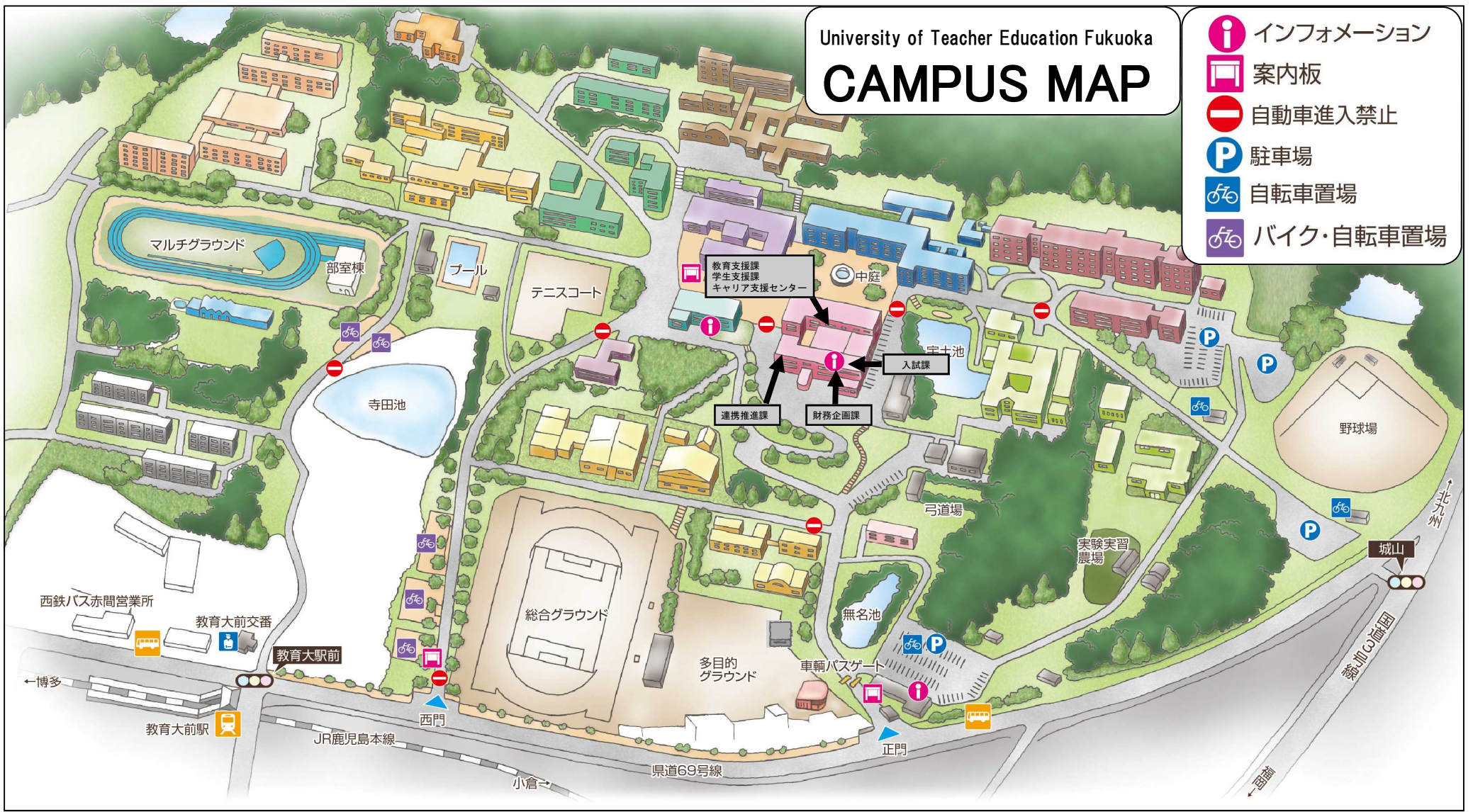
【周辺道路地図】



University of Teacher Education Fukuoka

CAMPUS MAP

-  インフォメーション
-  案内板
-  自動車進入禁止
-  駐車場
-  自転車置場
-  バイク・自転車置場



福岡教育大学各種お問い合わせ先

- 授業, カリキュラム, 免許等について TEL : 0940-35-1229 (教育支援課)
- 教育実習等について TEL : 0940-35-1233 (教育支援課)
- 学生生活, 課外活動, 学生寮等について TEL : 0940-35-1754 (学生支援課)
- 奨学金, 入学料, 授業料減免等について TEL : 0940-35-1239 (学生支援課)
- 留学・国際交流について TEL : 0940-35-1247 (連携推進課)
- 就職支援 (教職関係) について TEL : 0940-35-1249 (キャリア支援センター)
- 就職支援 (企業, 公務員関係) 等について TEL : 0940-35-1241 (キャリア支援センター)
- 授業料等の納入関係について TEL : 0940-35-1222 (財務企画課)
- 入試全般 TEL : 0940-35-1235 (入試課)